

24/10/9 名古屋市議会経済水道委員会（名古屋城部分）

名古屋市民オンブズマンによる、半自動文字起こしアプリによる文字起こし

委員長 北野よしはる（自民・北区）：ただいまから経済水道委員会を再開いたします。この場合お諮りをいたしますお手元に配付をいたしました通り本日の総務環境委員会で議決をされ、先ほど総務環境委員会委員長より名古屋城バリアフリーに関する市民討論会における差別事案に係る検証委員会からの最終報告を踏まえた名古屋城木造復元事業の進め方につきまして本委員会と連合審査会を開会をいたしたいとの申し入れがありました。

正副委員といたしましては、本件につきましては総務環境委員会と連合審査会を開会をして審査をいたしたいと思っておりますが、ご異議ありませんか。

ご異議なしと認め対応決定をしてお手元配付の通り、連合審査会を開会をすることに決定をいたしました。それでは私からは、総務環境委員長に対し連合審査会の申し入れに同意をする旨を回答をいたします。また、連合審査会の運営につきましては総務環境委員会と協議をしながら進めてまいりたいと存じますので、その取り扱いにつきましては、正副委員長一任の扱いでよろしいでしょうか。では左様取り扱わせていただきます。

議事進行

小出昭司（自民・中村区）： 総務環境委員会との連合審査会については、ただいまお決めいただいた通りになることかと思っておりますが、観光文化交流局を所管する経済水道委員会としても検証委員会の最終報告が出たことを踏まえ、名古屋城天守閣木造復元事業の進め方に係る現段階の考えについて、所管事務調査を開催していただきたいと存じますので、正副委員長において、お取り計らいをお願いいたします。

委員長 北野よしはる（自民・北区）： ただいま小出委員の方からのご意見につきまして正副委員長 にご一任をいただきたいというふうに思っておりますが、よろしいでしょうか。

ご異議なしと認めます。それでは左様取り扱わせていただき、正副委員長で協議をさせていただきますと存じますので、一旦ここで暫時休憩とさせていただきます。なお再開時間につきましては、追って皆様にご連絡をさせていただきます。よろしくお願いたします。暫時休憩いたします。

委員長 北野よしはる（自民・北区）： 只今から経済水道委員会を再開をいたします。休憩前に小出委員からご要求のありました件につきまして、正副委員長で協議をいたしました結果、10月11日金曜日午前11時より、付議議案に対する意思決定を行った後、総務環境委員会との連合審査会を行う前にですね、観光文化交流局関

係で名古屋城天守閣の木造復元事業の進め方に係る現段階の考えについての所管事務調査を行うことにいたしたいと存じますが、いかがでしょうか。

ではご異議なしと認めて、左様取り扱います。なお資料の調整につきましては正副委員長一任の扱いでよろしいでしょうか。それではご異議なしと認めて、左様取り扱わせていただきます。

次に、観光文化交流局関係であります。ご要求のありました資料が提出されておりますので、まずは資料についての当局の説明を求めます。

総務課長： それでは観光文化交流局関係でご要求のありました資料につきましてご説明を申し上げます。（かけて説明してください）ありがとうございます。

恐れ入りますが、お手元の令和 5 年度決算説明資料の表紙を入れていただき 1 ページをお願いいたします。

その隣 3 ページに参りまして、3、歴史文化普及啓発事業についてでございます。

(1) に趣旨 (2) に概要を掲げますとともに、(3) 実施内容といたしまして、事業の区分ごとの内容と新たな取り組みなど、特に力を入れた点をそれぞれ掲げさせていただきます。

ご覧賜りたいと存じます。

4 ページをお願いいたします。4、金シャチ横丁第 2 期整備、博物館ゾーン整備基本構想の概要についてでございます。

(1) に事業の目的 (2) に整備の内容、(3) に主な機能をそれぞれ掲げますとともに (4) 博物館機能の概要といたしまして、展示内容および展示手法を掲げさせていただきます。

5 ページに参りまして、5、金シャチ横丁第 2 期整備、芝居小屋多目的施設の設計等についてでございます。

(1) に、整備規模及び機能、次に外観イメージを掲げますとともに、6 ページへ参りまして、(3) 平面図といたしまして、施設の主な機能が配置される 1 階部分についての図面を掲げさせていただきます。ご覧いただきたいと存じます。

7 ページに参りまして、6、名古屋城天守閣特別会計における支出についてでございます。

(1) に令和 5 年度分の支出済額を (2) 天守閣特別会計ができた平成 28 年度から令和 5 年度までの支出済額の累計を、それぞれ天守閣整備事業に関する基本協定に基づく 505 億円の範囲の内外や財源内訳などがわかる形でかけさせていただきます。ご覧賜りたいと存じます。

8 ページをお願いいたします。

7、名古屋城バリアフリーに関する市民討論会における差別事案発生以降の名古屋城木造天守復元事業に関する障害者団体等への対応に係る指示等についてでございます。

令和 5 年 6 月 3 日に開催いたしました名古屋城バリアフリーに関する市民討論会で

の差別事案発生以降に、木造天守復元事業に関する障害者団体等への対応について、市長副市長、観光文化交流局長のいずれかから受けた指示や相談を指示等を受けた時期や指示等を受け、行ったもの、指示等の内容およびその対応として資料に掲げさせていただきました。

なお、区分のうち、明確な日付が確認できなかったものにつきましては、差別事案が発生した6月3日土曜日の直後の開庁日の頃といたしまして令和5年6月5日ごろと記載をしております。

また本件に関しまして、市長からの指示等はございませんでした。ご覧賜りたいと存じます。

以上、誠に簡単ではございますが、ご要求のありました資料についての説明を終えさせていただきます。よろしくどうぞ審議賜りますようお願い申し上げます。

委員長 北野よしはる（自民・北区）： では説明が終わりましたので資料に対する質疑を含め、総括質疑をお許しいたします。

みつなか美由紀（共産・緑区）： 資料提出をしていただきました7ページの6、名古屋城天守閣特別会計における支出を示していただきました。この資料に触れる前にまず令和5年度の実施内容を教えてください。

名古屋城総合事務所天守閣整備担当課長： 令和5年度の実施内容についてお尋ねをいただきました。

令和5年度は市民討論会の差別事案に係る検証総括が終わるまでは、整備基本計画の取りまとめと文化庁への提出はいったん見送るとしたため当初想定していた復元検討委員会への対応が不要となり、実施設計など予定していた業務は一部の実施にとどまりましたが、最低限必要な業務について実施いたしました。

具体的には、昇降技術の開発、昇降技術開発として、令和5年10月に公募で選定した事業者と契約し、安全性と耐久性を確保した機器本体の仕様検討を進めるとともに、実施設計として、昇降設備の設置に伴う建築側の取り合い等について検討を進めました。また、石垣保存対策として、事業が予定されている範囲の天守台石垣の周辺石垣は劣化が進行しているなど課題があり、適切に保存するため、有識者から早期に対策を実施する必要があるとの意見をいただいている石垣について保存対策のための設計を実施いたしました。その他木材の製材費として、先行手配した木材の保管を継続して実施しておりました。

以上です。

みつなか美由紀（共産・緑区）： 当初予算想定していた復元検討委員会への対応が不要となっており、実施設計など予定していた業務が一部の実施にとどまったということでもあります。

まず資料を見ながら 505 億円のですね、範囲内と範囲外というところで分けて資料を出していただきました。

505 億円の範囲内の支出の内訳につきましては、先日実施設計や木材の製材、石垣保存対策というご答弁をいただきましたけれども、先ほどの答弁にもあるように、実施設計というのは予定していた業務が一部にとどまったということは、実施設計は完了していないということでしょうか。

天守閣整備担当課長： 実施設計のお尋ねをいただきました。委員ご指摘の通りです、実施設計については現在継続中でございます。

みつなか美由紀（共産・緑区）： それでは 505 億円の範囲外の支出が、何なのか主な内訳を教えてください。

整備担当課長坂倉担当課長： 505 億円版以外の主な支出についてお尋ねいただきました。

505 億円の範囲外について主な内訳としては、職員の人件費、利子などの経費として、公債会計繰出金、寄附金の積み立てとして、基金積立金でございます。

みつなか美由紀（共産・緑区）： ありがとうございます。

505 億円の範囲内、そして範囲外について内訳をお聞きしました。天守閣整備事業を進めるにあたって、天守閣整備事業の優先交渉権者との契約分が 505 億円という範囲内であると思えますけれども、その他に 505 億円の範囲外としても、令和 5 年度 2 億 5000 万円以上が支出をされているということですか。

資料を見ましても、令和 5 年度について 505 億円の範囲外の方が多額の支出というふうになっております。

またこの範囲外のところには人件費が含まれているということですので、長引けば長引くだけさらに積み上がっていく数字だというふうに確認をしています。そして財源の内訳についてですが、505 億円の範囲内の支払額は市債が多くを占めているのに対し、範囲外の支払額については、一般会計の借入金のみとなっています。借入金ということですので、後で戻すことを想定しておられるのだとは思いますが、しかしそうは言っても現時点でやはり一般会計からの支出と、名古屋城特別天守閣特別会計への支出ということになりますので、令和 5 年度においても 2 億 3857 万円余が一般会計から特別会計支出されており、これが一般会計を圧迫をしている要因の一つになっているのではないかとこのように考えますが、当局はどのように認識されていますでしょうか。

天守閣整備担当課長： 当局の認識の方をお尋ねいただきました。先ほどですね、令和 5 年度は最低限必要な業務について実施したと申し上げました。我々といたしま

しては、差別事案を生じさせた以後、検証総括を得ないと前に進めないとしながらもですね、最低限必要となる業務を行ってきたというところでございます。木造復元の事業実現に向けてですね、着実に事業を進めているところでございますのでご理解賜りたいと思います。

みつなか美由紀（共産・緑区）： では（2）で平成28年度から令和5年度までの累計の資料も参考までに提出をしていただきました。これを見ますと505億円の範囲内の支払い額として68億円以上、うち木材の製材等に41億円以上の支出をしていることがわかります。財源の内訳の構成については、一般会計からの借入金が合計で16億円以上というふうになっています。一般会計からの借入金が大きく積み上がっていることで、年、単純に平均しますと、2億円以上、先ほども申しましたけれども、市民の税金が資源となっています。一般会計を圧迫しているということに、言わざるを得ません。

そこで、先ほどお聞きしました継続中となっている実施設計についてですけれども、継続中ということは、木造復元の全体の事業費もまだ把握がされていない、決まっていないということよろしいですか。

天守閣整備担当課長： 委員おっしゃる通りでございます。

みつなか美由紀（共産・緑区）： 全体の事業費もまだ定まっていないのに支出ばかりが積み上がっている現状であるということを確認しておきたいと思います。次に現天守閣についてもお聞きしたと思います。資料要求はしておりませんが、単純な数字ですので端的にお答えいただければと思いますが、平成30年5月に耐震性が不足しているということで、閉館になっている現天守閣についてどのような費用がかかっているのか教えてください。

名古屋城総合事務所管理活用課長： 失礼いたします。現天守閣の維持費に関するお尋ねをいただきました。令和5年度の執行額といたしまして総額で240万円余でございます。執行の内訳といたしまして、点検費に189万円余、修繕費に50万円余でございます。以上でございます。

みつなか美由紀（共産・緑区）： ありがとうございます。点検費と修繕費ということですがそれぞれの内容を少し具体的に教えてください。

管理活用担当課長： 点検費の内訳といたしまして、建築設備等、点検業務委託ですとか消防用設備点検委託などがございます。これらの点検につきましては、建築基準法ですとか消防法の規定などによりまして、定期的な点検が義務づけられているため点検を実施しております。また修繕費の内訳といたしまして誘導灯の取り替

え工事などがございます。こちらの修繕につきましては、定期点検の結果支障があると報告された設備等につきまして、適切な状態を維持することが必要となるため修繕工事を実施しております。

みつなか美由紀（共産・緑区）： ありがとうございます。

現天守閣は閉館されているのにも関わらず点検や修繕に約 240 万円ほどはかかっているということでした。この維持管理費は当初想定されていなかったものです。来園者が誰も入れない天守閣、現天守閣に平成 30 年から累計すると、単純に 5 倍するということ大雑把ですけれども 1200 万円というのが既にかかっています。さらに想定外の支出としては木材の製材のうち保管にかかる費用、これもただ置いておくだけということに毎年 1 億円ということで、これらは今後も年々積み上がっていく数字です。完成の目処どころか着工のめども立たない現状に状況にあるにも関わらず、総額では既に 88 億 4700 万円以上も支払われています。

このうち市の一般会計からは累計で 16 億 4500 万円以上の支払いがされています。市長は全て入場料で賄うと言っておりますけれども、なので逆に借入金ということもございますが、これが一般会計にちゃんと戻されるのかというところの可能性は残念ながら私にはわかりません。しかも市長は 2022 年までに実現しなければ、関係者全員切腹だということも言っていたように記憶をしておりますけれども、結局こんな中途半端なままこの事業を投げ出すということのようです。

市民の合意のないまま進められてきた木造復元は、令和 5 年 6 月の市民討論会で差別発言が出て人権問題となりました。そこでストップしたまま、最終報告は出されましたけれども、またこれがいつ動き出すか、見通しが持てません。時期も見通せない、いくらかかるかも定かでない。また一般会計からの借入金についてどのように返せるのかという見通しも持てていない、このような木造化は中止をし、現天守閣を耐震改修して、来園者の方に内部に入って内覧観覧をしていただけるようにすべきと意見を申し上げて終わります。

小出昭司（自民・中村区）： それでは資料をいただいておりますので、少しお聞かせをいただきたいと思います。

まず博物館ゾーンの基本構想をいただきました。いろいろ読まさせていただいたんですけど、この博物館を作るというところのまずちょっと意義を改めてお聞かせいただけますでしょうか。

名古屋城総合事務所金シャチ横丁第 2 期整備担当課長： 名古屋城におきまして博物館基本構想こちら博物館を整備していくことの意義ということでございますけれども、まず名古屋城におきましては、特別史跡名古屋城跡保存活動計画に基づきまして、保存活用のための整備を進めているところでございます。名古屋城はですね現存する遺構や詳細な資料が存在しておりますとともに、現在の名古屋へと続く都

市形成のきっかけとなった城の跡であるなど極めて高い価値を有する文化財でありますので、博物館整備を進めるということはですね、その本質的価値の理解促進また魅力の発信と、こういった観点から名古屋城にとっては、重要なことであるというふうに考えております。

小出昭司（自民・中村区）： 意義もよく理解できますし、エリア全体がボリュームアップしてですね非常にその価値あるものになってくると思うんですが、これ令和5年度そんなことによってこれ何やったのかちょっとまた改めて教えてもらえますか。

名古屋城調査研究センター副所長： 令和5年度実施内容につきましては発掘調査を行っております。発掘を行いました地点は、江戸時代に天王社という寺社の庭があったと伝えられている場所でございます。その場所を発掘調査することで、土地の状況を確認することを目的としました。

発掘は4ヶ所を試掘りしております。結果ほとんどが近代から現代の盛り土や造成でございましたが、一部、江戸時代の盛り土が見つかり、また近代の造成も明治から昭和の陸軍の遺構の可能性が考えるものでございました。こうした調査結果を今後博物館計画に反映していきたいと考えております。

小出昭司（自民・中村区）： そんなことでこれいつごろの完成を目指して構想を作ってもらっしゃるんでしょうか。

名古屋城総合事務所中島担当課長： 博物館構想でございますけれども、まずですね完成時期についてなんですけれども、この博物館想定される整備区域なんですけれども、現在の金シャチ横丁義直ゾーン正門側でございます金シャチ横丁義直ゾーンの南側が想定区域となっております。そちらに現在の国等の庁舎がございますので、その場所を想定はしておるんですけども、国等の調査が現存しているということもございまして具体的なこの整備の期日ということに関しては現在まだ未定というところでございます。

小出昭司（自民・中村区）： 住宅都市局もウオーカブルで丸の内エリアをこれからいろいろのまちづくり展開していこうというようなことで、そのエリアにも入ったかなというふうに記憶してるんですけど、そのあたり連携はどういう感じになってますでしょうか。

名古屋総合事務所金シャチ横丁第2整備担当課長： 現在住宅都市局の方におきまして三の丸地区の整備構想というものを反映されております。整備の区域で官庁街の方がメインであるんですけども、実際金シャチ横丁のゾーンもですね、近隣ということもございまして、担当課同士ではですね、情報交換、意見交換をしながら

進めておるところでございます。

小出昭司（自民・中村区）： 名古屋城周辺がですねさらに巨大な観光エリア、歴史観光のひょっとしたら世界有数のエリアに成長させるということも可能だというふうに思いますので、ぜひその辺りしっかりと連携をとっていただいて頑張ってもらっていただきたいなというふうに思います。

続いて金シャチ横丁の芝居小屋の件で資料をいただきました。これ多目的な活用というようなことなんですけど、何に使うのかなというふうに考えています。この休憩場以外のスペースというか舞台ですよね、考えてらっしゃいますか。

名古屋城総合事務所金シャチ横丁整備担当課長： 舞台を併設しておりますので、休憩所としてメインで使用させていただきますけれども、こういった舞台のところにですね例えばですけども、武将隊こういった方々の演武を披露したりですとか、あるいはですね、名古屋城のガイダンス機能という観点から学芸員などによる講演会とこういったことにおいても活用が可能であるというふうに考えております。

小出昭司（自民・中村区）： 設計でもすごい大きい金額出てるんですけど、これ建築費の想定はいくらぐらいで想定してらっしゃるんですか。

名古屋城総合事務所金シャチ横丁第 2 期整備担当課長： 整備費についてですけども、令和 4 年ですね、段階で一度この芝居小屋風多目的施設、こちらの方の資料を経済水道委員会の方にお示しさせていただいたことございます。その当時ですけども、概算の整備費ということで約 8 億円というものを示させていただいたところでございます。しかしながらですねその後、現行のですね人手不足でとか物価高騰というところもございまして、現在では 8 億円に収まらない可能性があるという状況でございます。その予算に関しましては現在住宅都市局の方におきまして最終的な積算をしていただいておりますので、正確な数字はちょっとまだ算出できておりませんが、現在算出中ということでございます。

小出昭司（自民・中村区）： 確認なんですけどこの施設は有料ですか無料ですか。

名古屋城総合事務所整備担当課長： 無料休憩所というふうに考えております。

小出昭司（自民・中村区）： 令和 4 年で 8 億、そうすると普通に他の入札の状況等々をから鑑みると普通に考えると 10 億オーバーになるんじゃないかなというふうに思います。これ 10 億円の建物をですね、相当立派な平米数から考えてもですね、相当すごい金シャチ横丁に見合ったというようなところもあると思うんですが、相当すごい建物を建てられるというような計画でまた無料というところですか

ね、これ本当にこの 10 億円もかけてやる価値があるのか、それともその休憩所というようなことだけであればですね安価に作れるもっと安価に作れる可能性はあるというふうに思うんですが、そのあたりどういうふうに考えてますか。

名古屋城総合事務所金シャチ横丁整備担当課長： この芝居小屋風目的施設ということでございますけれどもその整備、整備の目的という部分でございますがこちらの飲食も可能な休憩所というものを充実させることで、名古屋城観光おもてなし機能の充実を図ってまいりたい。また併せましてですね、先ほど舞台も併設させていただくという設計させていただいておるんですけれども、尾張名古屋の伝統芸能などにより、賑わいを創出していくと、こういったような目的を持っております。休憩所ということに合わせまして伝統芸能などを感じていただける施設を金シャチ横丁に作るということですね、名古屋城のより賑わいを創出してまいりたいというふうに考えておるところでございますので、ご理解賜りたいと存じます。

小出昭司（自民・中村区）： 収益性とかですねそういったようなこと、それから来場客数が名古屋城に増やすというような視点で考えたときに、それは休憩所があった方がお客様は、特に昨今では非常にその暑い夏場は暑いもんですからそういったところも必要でしょうし、ご自分でお弁当持ってらっしゃる方々にとってはありがたいということなので休憩場を作るという部分においては必要だなというふうに思うんですけど、ちょっともう一度改めて聞きますが、その休憩所がこれだけの 10 億の予算をかけて舞台を作るというところの価値というか意義というか、そのあたり改めて教えてもらえますか。

総合事務所担当課長： 舞台を併設することの意義ということでございます。整備の目的の中で尾張名古屋の伝統芸能などにより賑わいを創出すると、こういったことと申し上げたところですね金シャチ横丁既存のですね飲食店等はですね、和風の造り往時の姿を感じられるようなこととしておりまして、その雰囲気に合わせて休憩所ということで、ただ休憩いただくだけではなくて、例えば武将隊の演武ですとか、あるいは名古屋城ガイダンス機能としての学芸員による講演会、こういったことも合わせることによりましてより、名古屋城の魅力発信に繋がるという部分で舞台の併設をと考えておるところでございますので、ご理解賜りますようお願いいたします。

小出昭司（自民・中村区）： 私が財政局の人間だったらちょっと理解ができないなと、これだけ 10 億円もかけてですね、それで来場者数が増えるというようなことをも正直言ってそんなに大きく見込める訳でもないものだから、そんなことだったらもうちょっと安価な休憩所を作ってきちっとお客様が休憩していただけるようなコーナー展開をしていけばいいんじゃないかなというふうに思うんですが、それはち

よっと意見とさせていただくんですが、いずれにしろこの方向で舞台を作るという
ようなことであれば、これをですね無駄にさせていただきたくない。

できればですね有料で入っていただけるような施設にしていかないとですね、理解
してもらえるのかなと市民に。ていうような気がします。なんであんなものすごい
10 億もかけて観光客の人たちにすごい休憩所を作って、舞台もずっと檜の舞台でも
作るんでしょうか、ちょっと理解に苦しむなど。であれば何らかの形でその有料化
をしてですね、しっかりと税の無駄遣いにならないように名古屋市の収入が増える
ように、観光客に喜んでいただけるような展開をしっかりと深く考えて進めなくち
ゃいけないんじゃないのかなというふうに私はちょっと意見を申し上げたいところ
なんですが、そんな中においていずれ、名古屋城は解体をして新しいものに作り変
えなくてはいけないということだというふうに思うんですけど、その解体と建築に 3
年ぐらいかかるというようなこともありますので、例えばそういったときにですね、
有料化施設にして、そこにその金シャチを下してですね、舞台の上を下ろして有料
化施設としてお客様に見ていただくと。そのとき天守閣ないわけですから、何にも
魅力がない。今結構タクシーの運転手さんからのお話なんかちょこちょこっと聞く
とですね、観光客の方が名古屋城なんかし天守閣なんか入れませんよって行くのや
めようかなってというような話もあるぐらいなので、天守閣が解体されてない 3 年間、
建築中の 3 年間ですね、名古屋城の魅力がもう半減をして、半減どころか魅力なく
なっちゃうもんですからせめてもそういうようなことをして、その期間はお客様に
来ていただけるようにしていただくというようなのは、そんなような考え方もある
というふうに思うんですが、そういったところを、いかが考えてらっしゃいますで
しょうか。

名古屋城総合事務所金シャチ横丁第 2 期整備担当課長： 今ですね委員の方から将
来的に天守の建て替える際に、金の鯨下ろすことになる、その間天守閣が 3 年ほ
どない期間が続くのではないかとそのことを対応として、おろした金シャチをこの
芝居小屋風の多目的施設とりわけ舞台がございまして、そちらに設置してはどう
かというようなお話でございました。委員ご指摘のようにですね金シャチの際に観
光客の皆様が間近で見られるようにするという自体はですね、確か名古屋の観
光を盛り上げるという観点では非常に効果が見込めることであると思っております。
さらにはですね、下ろした際に観光客の方に目に触れるようにするには普通天井の
ブースなどを作成するんですけども、確かに既存のこの芝居小屋というものに設
置するということでしたらば費用対効果という面からも効果が高いことにな
るのではないかとこのように感じておるところでございます。今日いただきました
お話を元にですね、諸々の条件整理などが必要かと思っておりますけれども、そうい
った活用方法について検討してまいりたいと思っておりますので、ご理解賜りますよ
うにお願いいたします。

小出昭司（自民・中村区）： 私は今回作るもので来場者が増える、収益を上げる、そういったことををしっかりと考えるのが仕事だと思うんですよ。作るのが仕事じゃないんですよ。だからそこはしっかりと考えていただいて、どうやって、僕はもう有料化をしていく、どうやってしていくのかスペースが狭くていろんな問題はありますけど、そこは結果的にそういうものしか作れないんだからそんな中で知恵を絞ってやっていただきたい。その金シャチを下ろすときにそこを見ていただくのを有料化していただくなんてのは絶好のチャンスだというふうに思いますので、またその金シャチが上に登った後はですねステージのところがいつもガラーンとしてるようではですね、もったいないことになりますし、武将隊の演武があったとしてもサービスというようなことだけではですね、これだけの 10 億のお金をかけてやるというのはちょっと考えもんだなというふうに思いますので、そのあたりしっかりと計画を練っていただいて進めていただききたいということ意見を申し上げて終わります。

浅井正仁（自民・中川区）： そしたら私も資料もらいましたんで 8 ページか、職員の皆さん素晴らしい対応だったんだなと思っています。局として差別事案の検証を受けていることから 3 月 18 日に局長が所管副市長に対応できない旨お伝えしたって書いてあるんだけど、これは副市長が局長に言って局長から職員さんに言ったってこと。それとも副市長から職員さんに言って、職員さんが悩んで悩んで、6 日間悩んだのか、6 日間悩んで局長に返事をして、局長から副市長に言ったってことかな。

観光文化交流局長： 時系列で申し上げますと、3 月 12 日に副市長から職員にお話がありました。職員からちょっとあの時期は覚えておりませんが相談を受けまして、局内でもある検討した結果、私の方からお受けすることができないという形で 3 月 18 日私から副市長の方に返事したところでございます。

浅井正仁（自民・中川区）： これを踏まえて多分、今度の 11 日に合同やるということで、とりあえずは今日はこれ以上はしませんが、これが普通の対応だよ。局長がずっと一貫して総括して、そして再発防止策を踏まえて障害者の人に会う、局長立派だったと思います。続いていいですか。

ちょっと名古屋城のことをちょっとお聞きしたいんですけどね、全責任わしが取って市長が言ったと思うんだけど、全責任は私が取って言った市長さんはここにいないので、それも踏まえてちょっと市長さんといろいろ聞きたいことがあるんで、委員長さん、市長さんしか聞けないことを聞きたいので、こちらの方へ呼んでいただきたいと思いますので、よろしいでしょうか。

委員長 北野よしはる（自民・北区）： ただいま浅井委員から市長に対する出席要求がございましたけれども、具体的に案件的にはどんな感じを考えてみえますか。

浅井正仁（自民・中川区）： 案件的には今言うと、市長さんが考えちゃうので言えません。

しかしながら名古屋城の今までの検証結果が出たことを踏まえても、いろいろ聞きたいと思いますので、駄目ですか。

委員長 北野よしはる（自民・北区）： 検証結果を踏まえてということで、あくまで令和 5 年度決算であることを踏まえた形での質疑ということであれば検討させていただきたいと思います。本件につきましては一度ですね、正副委員長でご一任をいただきまして相談をさせていただきたいと思いますので、お時間を頂けますか。では一旦ちょっとこの件につきまして正副委員長で相談をさせていただきたいと思いますので、暫時休憩とさせていただきたいと思います。再開につきましては、また皆様方にご連絡をさせていただきたいと思いますので、暫時休憩をいたします。

委員長 北野よしはる（自民・北区）： ただいまから経済水道委員会を再開をいたします。先ほどの浅井委員の発言につきまして正副で協議中ありますけれども、ここで開会から 2 時間を経過をいたしておりますので、一旦ここで暫時休憩をさせていただくこととし、再開は 1 時 30 分から始めさせていただくということでよろしくお願いをいたしたいと思います。

それでは一旦暫時休憩をいたします。

委員長 北野よしはる（自民・北区）： それでは経済水道委員会を再開をいたします。この場合ご報告を申し上げます。先ほど浅井委員から名古屋城木造天守復元事業について市長に対する出席のご要求がありその取り扱いについて、正副委員長にご一任をいただいたところでありますが、正副委員長にて協議をいたしました結果、市長に出席を求めることといたしましたので、よろしくお願いをいたします。なお、本日は令和 5 年度決算認定案に対する質疑でありますことから、その点を十分にお含みをいただき、ご質疑ご答弁をいただきますようよろしくお願いをいたします。

それでは市長に対する質疑を含めご質疑をお許しをいたします。

浅井正仁（自民・中川区）： それではまず市長さん、お忙しいところお越しいただきましてありがとうございます。

市長さんとも、これずっと名古屋城でいろいろ議論させていただきましてありがとうございました。

ちょっと寂しい気持ちもするけど、ありがとうございます。

ちょっと早速なんで、市長、ちょっと私のところにメールが届きまして、ちょっとそれ読み上げさせていただきませぬ。

先生の活躍を日頃から拝見しております名古屋市民です。私は僕のこと、活躍ね。

名古屋市民です。

昨年度の名古屋城市民討論会の差別発言の件でニュースでたくさん取り上げられて、名古屋城木造復元について興味がわき、名古屋城のニュースや市民オンブズマンブログを見て勉強しているものです。

先日の9月2日に名古屋市長定例記者会見で市長が検証委員会の最終報告が出たら、早急に木造復元時事業を再開させたい。事業を延ばしていると、復元天守用の木材はみんな切って保管料がかかり、いずれは市民に負担が行くと発言しておりました。いろいろ調べると大天守事業は平成30年度に木材を手配し始めその頃は2022年12月に完成するとのことでしたが、現在はいろいろ課題があり事業は停滞しています。そもそも耐震化を行うのではなく、市長が無理やり職員に平成28年度に指示書を出して木造復元を強行していた印象です。こういうのが来ました。この方はそこで私が気になるのはまず一点目、毎年木材の保管料を負担しているのは、そもそも誰のせいかという質問が1問目です。市長さん、これをね、市長さんに一度聞いてほしいっていうもんで、市長さんちょっとお答え願えますでしょうか。

河村市長： 木造の場合は、乾燥させないかんもんで、当初は機械乾燥と早く作ろうということでしたけど、いろんなことがありまして自然乾燥でいきましようかということ、乾燥しとると、某所に保管されておりまして、一応あんまり場所は言っていないかんことになっておりますんで見に行きましたけど、順調にその作業は進んでるということでございます。

浅井正仁（自民・中川区）： 全然答えじゃないんじゃない。これは一般市民の人ね、僕じゃないから、一般市民の人に聞かれたと思って答えてね、毎年木材の保管料を負担しているのはそもそも誰のせい

河村市長： 誰のせいかという、元々木造復元をやる場合は、木材は生木ではないかんので、乾燥させないかんわけですよ。

だから木造復元に必然的に伴うもんですから。強制乾燥をやるという初めつもりだったんだけど、それは強制乾燥は強制乾燥で強制乾燥機というわけですよ。そういうのもありますけど、たまたまいろんな日常の中で自然乾燥してるとそういうことです。

委員長 北野よしはる（自民・北区）： 市長にちょっと申し上げますけど、乾燥の話はちょっと今聞いてませんもんですから、責任といいますか、誰が責任があるのかというお尋ねだと思えますけれども、

河村市長： それは木造復元をやるという以上は乾燥させなきゃいけないわけですよ。

それに決めた議会も予算を議決しておりますこれは。だからそのためには強制乾燥をやるか自然乾燥をやるかということで、どちらにしる必要なことだから、やっとなるってことです。

浅井正仁（自民・中川区）： 今、議会って出ただけど、議会のせいということですか。

河村市長： あの木材を購入して、あれは乾燥の予算は入ったと思うけども議会で議決されてますわね。100 数十億じゃなかったかな確か、それは含まれて、そういうことですよ、

浅井正仁（自民・中川区）： 多分この人が言ってんのは、今 1 億ずつで保管料かかってますよね。

それは誰のせいかっていうのが聞きたいんだと思うんだけど、

河村市長： 誰のせいといって、元々乾燥は必要なんです、ちょっといっぺん調べてもらいたいんだけど。初めの購入の予算がついとるけど、そのときは乾燥料は入っとるかどうか。あんときは強制乾燥だったけど確か入っとると思うんですよ。議決されたとき。

局長： 当初は木材の確か製材という形で乾燥料保管料も込みの形で契約をしておりました。

ただ竣工期限を超えるということもありまして、確かに令和 4 年からだったかな、ちょっと記憶が定かじゃありませんけど、保管料は別出しをして木材本体の保管に関しましては、毎年度それまで暫定的に期間を延長するというそういう契約に変更したというふうに記憶しております。

河村市長： 当初のその議会で議決された保管料は強制乾燥の強制乾燥機なんですかね、確か。

5 億か 4 億か、3 億かその位やと思う、それが議決されとるちゃんと、これがその後いろんなことがありまして強制乾燥はやめておこうと。

浅井正仁（自民・中川区）： 市長、今局長の話聞いてみえた局長の話、（横だて聞いてましたよ。）年数が延びれば延びれば延びるほど、1 億ずつ増えていくっていうね、誰のせいなのかっていうことよ。

河村市長： それは誰とも言えんとも言いようがないじゃないですか、これ。

例えばこないだの市民集会での話もああいうことがあって残念なことでしたけどね。

それでまた一定の結論が出るまで待つということなら 1 年かかりますよね、それでかかったわけですよ。

だから誰のというか、名古屋市の政治ですから、行政ですから、全部市長の責任だというそういう議論なら市長の責任ですけど、しかしそれは議会の皆さんも含めていろんなことがあって遅れていったということになれば、それはそういうことのせいだということ。

浅井正仁（自民・中川区）： 市長さんのせいとそれから議会のせいという答えですか。

河村市長： 議会のせいと、そんなことは言っておりませんが、議会もその木材の乾燥の今局長が言いましたように、乾燥料を含めて議決しとるわけですよ。だからそこで決まってしまうと、その代わり強制乾燥でやるから、そのときは機械を買わないかん。確か 5 億か 4 億か、そのお金が入ったと思いますけど、それで乾燥が終わったわけですよ。そういうやり方で。しかしその後いろいろありまして、それは議会でやってるじゃないですか。

浅井正仁（自民・中川区）： 市長、うちら議会は付帯つけてんだよ木材買うときに、その付帯破って買ったのは、誰かってことだよね、（破って買ったの）いやだってうちら議会付帯つけましたよ。

（どういう付帯でした）ちゃんと計画ができて、文科庁に許可を出してから、材木は買うようにって。

違いましたっけ。ちょっと詳しく覚えてないけど。（許可が出たからとは言ってないと思いますがね。

ちょっとわかりませんが、）

名古屋城総合事務所天守閣整備課長： 平成 30 年の 6 月の定例会でございましてそのときの付帯決議ですけども、木材、正確にちょっと読み上げますが、木材の調達に当たっては、文化庁から与えられた課題を確実に解決し現状変更許可の見通しを立てた上で計画的に行うこと、事業費の上限を 500 億円とすることは、市民や議会との約束であり、実現に向けて最大限努力をすることです。

浅井正仁（自民・中川区）： ね市長。付帯をあんまり軽く見られると困るんだわ。もういいですそれは。（見通しをつけてやってんじゃないの、）見通しついとるんだったら 2020 年でしょう。当初 2020 年完成だったんだから、（いろんなことが起こるわけです。）だから見通しついてないじゃん。次の質問いきます。

（どこまで見通すかどうかわかる、断りによって違う）じゃあ言わせてもらうなら、文化財をやるときはね、事前に文化庁と石垣の調査、いろんなものをして、よう

やく初めてどれぐらいの年数でできるってそこまで積み上げていくんだよね。名古屋市の場合は2020年ありきで走ったから、こうなってんだよ。

市長、この人の質問ちょっと次行かさせてもらっていいかな。

次この人の質問は、全責任は私が取ると言っていたのはデタラメか。

でもさっき市長さんは、全責任を私だって言ったもんね、だっていいんだよねそれは。

河村市長： これは当然名古屋市の行政のことについて言えば、それは私も800万給料もらっとるし実際は市長の責任ということに、これ究極的にはなりますよ。

浅井正仁（自民・中川区）： これは市長さんが全責任を取るということで、

河村市長： ちょっと待ってくださいよ、誤解があるといかんので、これは例えば1年遅れたと、ほで保管料が1億かかると、それについて私が個人的にその債務というか保証責任を負うと、そういうこととはまた違いますからねこれ。それはそれでまたもしそうなれば裁判で決着することになると思うけど、これはどういう理由で遅れたかということは、厳密に誰の過失なんだということはちゃんと証明されてからのことになりますから、何でもかんでも結果責任として全部市長が個人責任を負うというそういう意味じゃないですよ当然。

浅井正仁（自民・中川区）： 全ては私じゃないとね、でも市長はこと事あるごとに全責任は私が取るって言っとったけど、今日初めてその細かい部分を言われましたね。

河村市長： 法律的に責任を取るという、法律的に言うと結果責任ですよ。何かがあったときに誰の過失に関わらず、自分が責任を取るとそういうことではないですよ、言ってきますけど、ただ言葉で、これは僕の責任だというのは、それはみんなでこれいろいろ責任体制を職員で分担しながら、それぞれやってきますから物事は。だけど相対的には、やっぱり市長の責任だろうなということは間違いないです。そういうんですから。

浅井正仁（自民・中川区）： 全責任っていうと、すごいかっこいいんだよね。この指示書ここにあるんだけど、いろいろ書いてあって、「以上、本件の全責任は私が取るので各位全力で取り組まれます」みたいなことが書いてあんだけど、でも、以上、本件のこの部分は責任とるけどみたいなね、今の市長の話だとなんかだいぶニュアンスが変わっちゃうね。

河村市長： そういう言葉のね話、そんなこと言っとったら世の中で市長や知事を

やる人は誰もおらんようになりますよ。

それぞれ責任というのは分担しとって、全体の責任は僕であるということ、法的責任は、毎年 1 億の賠償責任を負うと言ったじゃないかということになると、これ裁判になるといけませんので、使われるとまずいからこれは。それはそういう意味じゃないですけど。浅井さんはわかっとるんじゃないね（全責任は私が取るなんて言っちゃ駄目だよこれ。

そうなら言っちゃ駄目よ。わざわざこんなことを勘違いする。）

そのときは名前言うのやめてきますけど、某観光文化局長がね、やっぱりずっとやってきたけど、名古屋城天守はコンクリートで耐震補強をやるという前提で昔進んできたから、そのぐらいのことを言ってもらわなければ、書いてもらわなきゃそれも文章で、進めれんから書いてくれということ、なら良いよって、

浅井正仁（自民・中川区）： 書いてくれって言われたからって書くの、指示書を。（そりゃ書きますよ）そんな軽いもんなの。（軽くないですよ、こんなことまでやらないかんか）書かんときゃいいじゃん。

河村市長： 書いてくれないと前に進まん。（市長、挙手してちゃんといいと発言してください）前に進めんというのであれば書きます。

浅井正仁（自民・中川区）： 市長の全責任の意味がようやくこれで多分わかったもんで、多分職員の人たちも顎外れたんじゃないかなと思う。最後の質問この人の。総事業費 505 億円の事業で、毎年 1 億ずつ増える現段階でもう入場料収入でまかなえないのではないかな。多分市長言ってもあんまりよくわからんでしょ。（いやわかりますよ。）わかる。

わからんかったらお城の方でもいいけど、市長が答える。（質問は何です）

総事業費 505 億円の事業で毎年 1 億ずつ増える現段階で、もう入場料収入では賄えないのではないでしようかっていう質問。

河村市長： 1 億円かからないように、これは福祉の皆さんとも、いろいろお話をしながらなるべく早期に着工して、名古屋市民の宝になるように文化の、必死に努力しとるということです。そういうことですよ。努力もせずに遊んどったらいかんですよそりゃ。必死に努力しとるわけです。

浅井正仁（自民・中川区）： 佐治局長、いいですかそれで。

局長： 名古屋城にかかる木造復元の事業費につきましては、当初から税金を投入しないという形で入場料収入で賄うというそういった収支の方針で掲げて進めてきておりました考え方は現在も変わっていないところでございます。

ただ今日の午前中でも議論がありましたように、木材の保管料であるとか職員の人件費とか、当初それに比べて事業費が積み上がっているというも事実でございますので、今後事業を進めていく上でもですね、竹中工務店と協定を交わしております上限の 505 億というこの金額をしっかりと守る形で事業費の管理をする、守りながらですね事業を進めていきたいというふうに考えているところでございます。

浅井正仁（自民・中川区）： ずっと一緒の答えだね、局長、ずっと一緒だよ。だけどどんどん増えていくんだよね金額は。加算されていくんだよね。あくまでも 505 億ってこれ竹中に払うお金なんだよね。違ったっけ。

観光文化交流局長： 竹中との協定の上限が 505 億でございます。ただそれ以外に今日午前中でありましてその範囲外というかそういった経費もかかっておりますので、そういったことも含めて全て使用料で賄うというそういう計画でございます。

浅井正仁（自民・中川区）： はいわかりました。この 3 点をこの方は一生懸命勉強して市長さんに一度聞いていただきたいということで、市長さん衆議院に出るものでも機会がないのかなと思ったりたまたま今日あったもので、多分この人も非常に市長の今の答弁を聞いて納得されたと思います。こっから僕の質問いきたいと思えますんで、いいですか。

では河村市長が 1 丁目 1 番地として進めてきたこの名古屋城の天守閣の木造復元最初の計画ね。

一番最初ね、多分松原さんだよ。そのときは耐震だった。耐震をやろうというところで決まっていたと思う。河村市長が木造復元をするというのがこれが始まりだったと思います。私はそのときに夢があっていいなと思いました。

ただいろいろ勉強する間に進め方が違うんじゃないのかなっていうのを感じました。最初はそんなにも僕はあんまりお城興味もなくて、石垣が国宝だなんていうのも知らなかったぐらいのレベルでした。お城って言ったらやっぱこの天守があって、ある日うちの会派の伊神、横井に明日来いと。文化庁へ行くと言って、絶対来いと言われて連れられて行ったのが最初です。文化庁の課長さんがおって 15 分だったかな。15 分ぐらいで結構きついことを言われて帰ってきました。何かとかいろいろ思ったところ名古屋市職員さんから、いや多分このまんまでは進まないよと東京駅で教えてもらいました。

いろいろ自分なり、1 人で文化庁へ行ったり、いろんなところで勉強してこの進め方ではなかなか進まないなっていうのが第一印象で、そこから毎回質問するようになりました。

さっき言った耐震補強の方向性を多分文化庁ともやってたのかなその文化庁の手続きも含めてね、これ変えるのは非常に大変なだったと思うし丁寧に進めるね、今でも市長は丁寧に進めるとよく言われます。

当時、国宝第1号の名古屋城の木造復元だからこれよく市長が言う言葉だよ。だからこそね、この完成時期だけにこだわらずに文化財として丁寧な議論がこれ必要だったという指摘もね、河村市長は指摘があったにもかかわらず、市長は2020年にこだわった。そのこだわりの一番としては技術提案方式によってそれを守ろうとした。

そもそもこっからちょっと間違ってたんだよ。

結局この丁寧さを欠いたことが国宝である天守閣の石垣の保全を全く考えていない計画だと、その当時、石垣部会の人や文化庁からご指摘があったと思う。そしてあつという間に2022年完成を撤回された2020年か。

その後、市長の個人的な思いが噂となって、2024だとか26ね、この根拠のない完成日だけが先行した。しかし現実には石垣の調査しかできず、1ミリも動いてないという今の現状だと思います。もうかれこれこの名古屋城をやって14年、15年ぐらいたちますよね。

蜂谷名古屋城総合事務所長： 市長が天守閣木造復元を掲げて当選されてからおおよそ15年経過していると思われます。

浅井正仁（自民・中川区）： すいません。ええということですよことですよ。

15年にしてはちょっと遅いかな。（公約に掲げていますから。）

最近ね、これ市長さんが何かの出馬会見なのか定例記者会見なんかわかんないんだけど、耐震補強が決まっていた天守を木造にするのは簡単ではないことではないから、時間がかかるのは当然って言ってました、市長さんが言っとったね。よくやってきたと思うと自らを評価していました。

（その通りです。）でも時間がかかるのは当然ちゅうのは最初からわかってたことね、大変だったっていうことはわかってたことわかってたことは（言えんですよ。）だからこそね、完成時期にこだわらずに丁寧に議論をするべきだった。

議会からは技術提案方式にするときに木材を買うときね、石垣の保全をするとき、そして昇降機の設置を検討とするとき、多くの機会を捉えて丁寧に進めろ丁寧に進めろって、うちら言いましたよね。

それでも完成時期にこだわってね2022年の違う、1回目の現状変更、持ってった時、なんか皆さんは明日下りるんだってね、ある職員は通ったときのQAまで作ってったっていう噂があるんだけどね。

そのときにも市長は会見でね、いやあ直ぐできますよって言っとったね、その直ぐがいかなのだよね。直ぐはやっぱ丁寧じゃないんだよ。それでね、市長さんが今になって難しいことだから時間がかかっても仕方がないとか、これまでよくやってきたと思うとか、全く違うことばかり言うようになったんですよ。ちょっと些か僕はなんだろうって思います。

さらに言うならばね、経済指導委員会に市長が出席したときにね、あれ僕が市長に

言ったんだよ何年か前、議会も一緒になって市長やろうかって、覚えとらんかね、市長はね、ええって言ったんだわ。わしらでやるって、議会も一緒に市長やりましようかって言う質問をした時がある、名古屋城の復元を。そしたら市長はね、ええって言ったんだわ。

わしらでやるって言って、（そうですか覚えがないけど）そんだけやっぱ軽くみとったんだね。

その原因も松雄副市長が文化庁への資料提出を優先したことね、今回。

市民討論会が準備不足になった。そして世界的に恥ずかしい人権問題を引き起こした。さらに今回の検証結果で河村市長と松雄副市長の職員へのパワハラ疑惑も出てきちゃった。そしてさらに松雄副市長が人権よりも木造復元を優先して、全くもって何かわけのわからん方向で今進んでとる。やっぱりどう見ても 1 ミリも丁寧な対応をしてこなかったし、今もしていないと言わざるを得ないかなと思います。市長、質問するで、よう聞いといてね。

耐震補強すると決まっていた天守閣を木造復元するために丁寧な対応が絶対的に必要だと思っておりますが、当初市長は 2020 年の完成と主張していた。しかし本来完成時期を言う場合、さっきも言ったけど文化庁も 2020 年の完成を一定の理解を示してないといけないと思っております。それはなぜか、熊本城がいい例だからです。

そこでね市長にお聞きしますが、ちょっとずれるんだけど、この質問で令和 5 年度の決算に行きますんで、どうしても必要なんです。委員長お許しを。お聞きしますが天守閣木造復元は、石垣の保全を含めた完成までのスケジュールについて、これをちゃんとその時期、文化庁と協議していたのかあるいは市長の思いだけで言っていたのか、お答え願いたいと思います。

河村市長： これは何遍も言ってますからね文化庁には、全部覚えておりませんが、とにかくこういうのは初めてだと世界で初めてですかねこれ。

だから自分たちではなかなか、これ言ってなかったかなということを出せないで、凶面等がですねこれ難しいということで、竹中さんの話を凶面を持ってったときに、素晴らしいですねは言ってました。これ素晴らしい復元計画だと言っててましたこれを覚えてます。課長だったと思いますけどね。だいぶ前になりますけど、そういうことで進めていったと言う事です。

浅井正仁（自民・中川区）： 素晴らしいねだけで 2022 年が出てくる筈もないしね。2020 年か。

河村市長： 2020 年はちょうどオリンピックがあるときだったと思いますよ。

だから名古屋もですね、ぜひこれというやつをですね、やっぱり東京ばかりじゃなくて、出そうかということがあって、それでできればということで 2020 年持っていて、それはええことだと言っとる人もいました経済界の人で。

浅井正仁（自民・中川区）： そうするとオリンピックがあるから、そこありきで、経済界の方はそれはいいって言うわね。それはいいっていいますわ。別に文化庁はいいとも言ってないし、何のすり合わせもやってない。いいっすわ（出してくださいは言っていましたと思いますよ。）

河村市長： 言葉は全部じゃないけど、文化庁何べんも行ってなにしておりますけど、素晴らしいですねと竹中さんのこの図面はと言っていましたから、そこで出して下さいよという言葉があったかどうかあれですけど、ぜひ進めて下さいねというのにはあったと思いますよ。

浅井正仁（自民・中川区）： 次の質問行くわね。
最近市長はあとは文化庁に資料を提出するだけという趣旨の発言をこないだしてました。文化庁は名古屋市が資料持ってきたら、復元を認めると言っているの、そういう意味で言ったの。

河村市長： 私には電話ですけど自信を持って復元で出して下さいと。
ただし、200年後に国宝になるでしようとしましよう。
だけど200年はいくらでも長すぎるわそれはって言って、そういう会話があったことは事実です。

浅井正仁（自民・中川区）： 電話で持ってきて、（出してくれて自信を持って）何を出すの。ちょっとお城の方に聞きますけどそんな資料を出せるの、整ってんの。そういうことを文化庁から言われたの。

河村市長： それは私が言われたんでこっちに聞いてもいかなのじゃないのそれ。

名古屋城総合事務所天守閣整備課長： 整備基本計画の状況についてお問い合わせいただきました。
令和4年度末の時点で、バリアフリーの件、バリアフリー除いてですね、ある程度まとまってきている状況ではございましたが、やはりまだバリアフリーがまとまってないという状況でしたので、それを決めた上で文化庁に出していく必要があったかと認識しております。

浅井正仁（自民・中川区）： そうするとバリアフリーがやっぱ最後までネックなんだよね。
（誰に言っとんのですか。）いやだから、出せないってことじゃ、

河村市長： 出せんことはないですよ。

委員長： 河村市長、手をあげてくださいね。

河村市長： ちゃんと理解をいただいてやれば。

浅井正仁（自民・中川区）： 市長そんないい方みとったら、もう資料はできてて、もう出したら、すぐ復元認めてもらえるみたいな言い方じゃ、でしょ。

河村市長： 自信を持って復元ということですのでしてくださいか、やってくださいだったかな。

浅井正仁（自民・中川区）： だからバリアフリーが欠けてるじゃん。（それは丁寧にやっとするんですわ。）

いやいや、丁寧にやろうが何だろうが、文化庁は何階まで持ってこいって言ってんだよ。何階まで付けるかを持ってきなさいって言ってんだよ。それは名古屋市側が決めてくれってというのが、そういうこったやな。

（何階までは）お城の人、そういうことですよ。（何階まで聞いておりません）

名古屋城総合事務所整備担当課長： 昇降設備のバリアフリーのですね、設置階の整備基本計画上のですね取り扱いについて問い合わせをいただきました。

文化庁としてはですね、設置階を決めて持ってきてくださいと、整備基本計画に取り込んで持ってきてくださいという解釈ご指摘いただいております。

浅井正仁（自民・中川区）： でしょ。だからエレベーターが決まるまで持ってけないんだよ。

それも5階なのか4階なのか3階なのか2階から1階。松雄副市長が言ってた下から上は認められない。

ね、強度と重量の関係から、下から上になったら重量が重たくなるでしょ。全てが変わっちゃうのよ。だから松雄副市長が言ってたのはデタラメね。で市長が言うてるのもこれでたらめじゃん。めっちゃんこだわ。（何がでたらめですか言葉に気をつけてくださいよ。）言葉に気をつけるのは市長だ。（あんただわ、ええかげんにしとかなあかん。）

だってこれすぐ、多分これを聞いた人はもうすぐ出せるんだと思うよ。じゃ市長言うけどね、市長本会議で何度もね文化庁の偉い人と話してると言ってるね、偉い人と話してるんだ。そしたらこないだ衆議院の出馬表明のとき、衆院議員になったら国の立場で名古屋城の木造復元を支援すると言っていましたね。

なんで今文化庁の偉い人がおるのにね、今名古屋市長の立場でその人に応援しても

らえんの。

河村市長： 仮定のことばかりは言わんと、例えば衆議院だったら、文教委員会
ってありますわな。文部省を文化庁を所管しとるとこ、下手すると名古屋城しかな
いかもわからんですけど、凶面もあってその復元をやってたときに燃えちゃったか
らもう何もなしだとそういうのは従来型の考え方だったけど、それをもっと改めよ
うと文化庁令和 2 年基準、立法化してもいいんじゃないかとそういうことを、これ
は自民党も含めて超党派でやった方がいいと思いますけど、そういう人たちもいま
すから、そういう運動してくる。日本にそういう木の文化だと燃えちゃう、なくな
っちゃうわけですよ。パルテノン神殿と違うわけよ。
それを文科庁のいわば応援団となって頑張るということです。それ言うのは悪いの。

浅井正仁（自民・中川区）： いいよ、（ええでしょそりゃ、）でも名古屋城の木造と
関係ないじゃん。

（いやいやもう大有りじゃないですかそりゃ）木の文化が大切ってことでしょ。（そ
ういうこと）でいいでしょ。わかる意味よ木は燃えちゃうから、その木が燃え燃え
たときにもう 1 個同じやつを作れば、文化財みたいな話でしょ。ちゃうの、（同じや
つで同じ場所じゃないと同じ場所で、）

河村市長： これは文化庁も要件を立てておまして、奈良ドキュメントというの
をそれをあの文章にしたのが令和 2 年基準ということで、同じ場所にそして凶面等
があること、それから材料も同じものを使う燃えちゃってるけど木なら木を使うこ
とと、この三つ揃った場合は本物の価値があるんだと。いわゆるレプリカから、文
化財ではないと考えられるが、反面ちゃんと文章書いてあります。

そういう歴史的な史実に基づいて作った場合は、別個の価値が与えられると、と言
ってるからそれもうちょっと進める。この考え方を日本中もっと木の文化を大事に
しようと、それは努力するということになる。

名古屋城も多分下手すると、日本中で実はそれできるのは名古屋城だけしかわから
んから、こんだけ 3 要件が揃っるとということになるんですよ。大変貴重な建物だ
なとわかってもらえると。

浅井正仁（自民・中川区）： なんかずれとるんだよな。

木造復元、名古屋城の木造復元と今言ったのは、それ一生懸命頑張ってもらえばい
いんだけど、木造復元は課題はもうわかってんだよ（何がわかっとなですか。）バリ
アフリーじゃん。あとは穴蔵の調査とでしょ。

もうわかってんだよ原因は。木造の素晴らしさを勝手にそれやりゃいいですよな。

私達市民は一刻も早く登れる城にしてほしいんだよ。

河村市長： そういう考えもありますし、（そういう考えって何。）

だから登れる城にしたいという、みんながね、車いすの方も登れると、そうなる
中の構造を変えなきゃいけませんのでこれが、エレベーターを作ってみたり、僕な
んかは車いす自体の構造を改革によって、もうちょっとかかるかわからんけど、上
がっていけるようになると、そういう方法もできますし。

だけど大事なことは、バリアフリーという法律的にもよう読んでみますと、これは
障害者差別解消法はどっかの公共建築物ですわね。そこで具体的な権利侵害があっ
たときに、例えば区役所の 2 階へ上がれないと、そういうときは合理的配慮して上
がれるようにしなさいよということは書いてありますけど、これは具体的な権利侵
害が。名古屋城の場合はちょっと違うわけです。

一番大事なものは、やっぱりこれ、空襲で完全に燃えてしまったこの名古屋の街で
すね、もう 1 回本物が図面等があるときですよ、名古屋城にこれ図面がなかったま
たちょっと別あったかわからんけど、やっぱりそのときはもう 1 回同じものを復元
して、また文化庁に言わせると 200 年後のちょっと長いけど国宝にして千年も大事
にしようと、そういう別個の価値がちゃんとあるんだと、それをやっぱり言うこと
が重要だと。わしゃそれを言い続けるでしょう、これから。

浅井正仁（自民・中川区）： さっきと話が変わるんだよね、さっきはねエレベーター
については丁寧に理解を得るって言いながら、今は別に理解入れない話じゃ。

（何、）さっきは障害者の人たちに丁寧に理解を得るって言ってたでしょ。

（はいはい）だけど今の話したら車椅子の人は入れんぞって言ってんでしょ。

（それわかりません）それは平行線をたどるんだよな、どこまでいったって多分
（一番最後は価値判断なるかもわからんね、一番最後は価値判断になって）価値判
断、価値判断って何。

委員長 北野よしはる（自民・北区）： 発言するときは挙手してください市長

河村市長： やっぱり文化財だったら、熊野古道にもエスカレーターつけるのかと。
犬山城にもエレベーターをつけるのかとなりますわなって、やっぱそれはおかしい
でしょうという人たちもたくさんおるわけです、文化財の価値というのは。ほんで
世界一のバリアフリー都市名古屋を作りましょうと、世界一のバリアフリー都市は、

委員長 北野よしはる（自民・北区）： 河村市長さん、ちょっとマイクに寄せて喋
らないと聞き取れません。

浅井正仁（自民・中川区）： 市長さんね、飛躍しすぎだよ。飛躍しすぎだよ、犬山
城に付けられっこないじゃん。

あれは本物の国宝なんだから、今から建てるわけでもないんだから、（何が違うんで

すか。)

今から建てるのは今から建てるやつじゃん（新築ですか、）新築だよ（ということはレプリカですか、）レプリカだよ、（そこは間違っとるでいかん。それは浅井さん間違ってますよ。文化庁が令和2年基準で違うと言ってますから。）

レプリカだよ。文化庁の指針もレプリカじゃん。（レプリカであるが、反面）

委員長 北野よしはる（自民・北区）： 挙手してください、市長。

河村市長： 文化庁が令和2年で出したのが、その前に奈良ドキュメントで出していますけど、そういう解釈をきちっと文書で出したのはプロジェクトチームの最終取りまとめですね、それでちゃんとありますから、浅井さんが言われたように、新築建造物であり、一旦燃えたやつを復元するようなレプリカであるが反面と文章続くんですよ。

歴史的事実に基づいて作ったものは、ちょっとてにをは別で、別個の価値が与えられると、そういうのは文化庁ちゃんと出しておりますから、それは浅井さん国会で議論しようか、これ。（保守党から出してくれる俺）どうぞ。

（どうぞじゃないわ。そんな公の場で誘われても困るわ、俺も。市長さーこれね、市長はさ、国行っちゃうのでしょう。）行っちゃうたって心は名古屋のまま。

委員長 北野よしはる（自民・北区）： フリートークではありませんので挙手してから発言してくださいね。

河村市長： 行っちゃうから何とかそんな言い方ありますけど、新しい職務としては市長はこれ、長いことやるもんだないし、約束通りねここらで変わってこうかと思うんで後継者も広沢氏に指定しておりますし、彼はエレベーターなしの、何階かは別ですよこれは、作ると言ってますから、引き継いでいくんですよこれは。

だから、職務としては名古屋市長は終わりますけど、心はというか仕事は名古屋市のために全力を投球しますから。

浅井正仁（自民・中川区）： 全責任はわかんないねさっきの答えでもね、これから名古屋城もどうなるかわかんない、新しい市長さんがね、そしたらエレベーター付けるって言ったらどうすんの、市長。

河村市長： そんな仮定の話しとったってしょうがないじゃないっすか。そうならんように全力投球するということですよ。

そういう方みえると、エレベーターをつける人は上まで、

浅井正仁（自民・中川区）： 僕、（5階までエレベーター付けたいんですか）つけた

い。(そうすると大抵ね、)

河村市長： ちょっとまだ確定していませんけど、一番上までいきますと本物は 5 階っていうんです、5 階部分、今コンクリート 7 階ですけど。5 階部分っていうのは、あれ最後の武将、攻められたときに一番の武将のリーダーはあそこで人みんな集めていわゆる切腹するわけです。これ家臣を前に置いてものすごい重要なとこなんです。5 階というのは、これお城にとって。そういうところの多分ね、確定してませんけど多分 4 割 3 割 4 割 5 割まではいいかと潰れることになります、エレベーターで。そのところが煙突みたいになって。そんなことやっちゃたらね、歴史に対して申し訳ないじゃないの。

浅井正仁（自民・中川区）： 今潰れるって言ったけど、何が潰れるの。

河村市長： だからエレベータースペースがいるからです。(空間が潰れるってこと、空間が潰れるってこと。) エレベータースペースがいるから。それは江戸時代にありませんから、そんなもん。

浅井正仁（自民・中川区）： とかくねいろいろ話ししてきたんだけど。僕もね、この今の手詰まり状態、いろいろ思った。これをいろいろやらさしてもらって僕が思ったのは、僕はあの解体申請を行政が打ち出したときに大反対した。だから本会議場で席を立った。なぜなら解体申請をして、もし本当に無くなったときに、あの名古屋城は建てさせてもらえない可能性もあるからだって言われたからね、(誰に言われた) それは文化庁の偉い人ね、(ええ加減の話しちゃうかん) うちら自民党何人行ったかな、5 人行ったかな。解体申請のときね、だけど今思うと今やってるのは解体申請なんだよ、解体なんだよ。解体しなきゃ何にもわかんないんだよ、中のことが、だから本当はあのままいったら、今なかったかも知れない。穴蔵調査できてたかも知れない。

それを木造ありきって言うから、文化庁は木造ありきならば一体で出してきなさい、こういう自然な流れになったね。

本当は僕も今、あのときにずっと解体申請が正解だった、正解なんだって言ってたら方が良かった。そしたらもっと早くできたかも知れない。なぜならお城がなかったら、名古屋市民は建てろ建てろって言うに決まってるから。今現実にあるからなかなか心の中であるが、でもあれが本当になかったらね。今の空襲で燃えたときみたいに市民全員が建てろ建てろって言ったかもしれない。(あんときは木造の方が多かったんだけど、アンケート結果、)

委員長 北野よしはる（自民・北区）： 河村市長、手挙げてください。

浅井正仁（自民・中川区）： 市長それはいいわ別に。だからやっぱり大きなときには、ゆっくり考えることがねこれ大切だと思うんだよね。市長はさっきこの人のやつていくと、もうすぐにもう材木を金かかるもんで損害が市民に行くみたいなことをね、言ったんだよね。これどっかで去年の経水で北角さんが言ったのと同じ発言だと思うんだけど、佐治さんちょっと教えて、市長はこうやって言ってんだけど、佐治さんは本会議でね、検証結果が出て総括をして再発防止策を作ったね、そしてようやく障害者の方々に報告謝罪ができると言った。でも市長は違うんだよね。もうすぐにでもやるんだよね。（そんなこと言ってませんよ。）どうどっちなの、総括してから再発防止策を探ってはじめてやるのか、はじめ障害者の方にね、説明と謝罪をするの。

河村市長： それは話をしがてらですね、一応聞いとるのは人権の特に役所内部での人権問題についてルールを決めること、それから僕はよう言ってるんですけど、今まではどうしても最後ちょっとアリバイ的に聴くだけに終わったから、天守だけじゃなくて、公共公建築あるいは民間建築も含めて、やっぱりハンディキャップのある人たちがその計画の段階にも入ってきてもらって、上場会社でも作ってもらうと、そのくらいの世界一のバリアフリー都市を作りましょうと、そういう提案をきちっとして、それからですよ。

浅井正仁（自民・中川区）： それから、それから障害者の人たちとお話をする。違うでしょ今言ってるのは、

河村市長： それ言っとる以上は、全く交渉なしではできませんので、一定の話はしておりますよ。

浅井正仁（自民・中川区）： 佐治さんはどうですか、

観光文化交流局長： これまでこの委員会でも本会議でもずっと申し上げてまいりましたが、第三者委員会の人を検証の最終報告が出ておりますので、局としてはまず総括を早急に始めたいと持っております。総括を始めていく中で、当然その局としての再発防止策これもしっかり講じていく必要があるかと思っています。そこをまず成し遂げた上で、今回ちょっと差別発言を受けられた方に局として謝罪をしてですねそれをまず受け入れていただくと。その上で障害のある方も含めたその市民全体に今回問題としてしっかり報告をして、その市民全体の合意理解を得た上で初めて対外的なしっかりした検討がそれは再開できるんじゃないかなというふうに考えているところでございます。

浅井正仁（自民・中川区）： 市長と違うんだよね。（そう違っとらんすけどね。）

そう違わんかな、局長違わんかな。一緒、

観光文化交流局長： そのこのところはすり合っているかと思っております。

浅井正仁（自民・中川区）： そうするとね、それを作り上げるのに半年ぐらいかかるかな。

（そんなことありませんよ。）決算だけちょっと聞かしてね、どれぐらいで作るの。

河村市長： 私はちょっとそういうことで、また別天地に行きますけども、心は名古屋のためを思ってますけども、（いやいやどれぐらいで作るつもりなの総括を）あんまり言わん方がええか、また一人歩きしてワーワー言われると、止めときますわ、あんたもおるし。（佐治局長どれぐらいかかるの）一応でもないけど、

観光文化交流局長： 総括のスケジュールでございましてけど、まだあの現時点で申し上げる段階ではございません。

浅井正仁（自民・中川区）： 上手に逃げるね佐治局長。丁寧に丁寧に重ねてね今日の市長の話聞くとね半分以上わかんない。

僕の理解不足だと思う。東京行って頑張って木造の素晴らしさって、なんか竹中工務店のCMみたいだけどもね。言うなれば木が大切って言うなら、隅櫓、耐震もやらないじゃん。だったら本物の角櫓を最初に直さなあかんのじゃないの。

木が大切、木が大切っていうなら、

河村市長： また初めに戻ってってもらってあれですけど、天守閣の一番上の5階の耐震何とか値が、アール何とか値0.14本当にめちゃめちゃ低い建物という状況です、ドーンという形にならんけど、やっぱりちょっとした大きいのがあればダダッとただ崩れてくるという状況で、ものすごい危ないんです。今名古屋市場の中で一番危ない建物ですあれ。だから早くやらないかんしは、これだけ話しとるでわかったと思うけど、浅井さんは木造にしても5階の一番上までエレベーターつきたいんでしょ。例えば半分近くが違う構造になっても、（そんなふうになれへんってなれへんって、なんで半分もなるの）いや、3割4割はなると言ってますよ。なると言ってますね。それはエレベーターのあれを作らないかんですよ。

そりゃ、エレベーターの空間を作らないバージョン

総合事務所長： 今、開発しております昇降技術についてご質問いただきましたけども、今開発しているあります昇降技術につきましては、基本的には柱梁を切断せず後から取り外せば、元に戻るような形で開発を進めておりますので、フロアの半分とか、4分の1が全てエレベーターになるようなことはないと考えております。

浅井正仁（自民・中川区）： でしょ。（いや、いや）いいんだわ、（そんなもん、まだ決まっとらんのにいい加減なこと言ったらいかんであんたもう、）

河村市長： いやそれはまだね、どういうふうに作っているか最近の話だと重量とか、それから防火のことがあるもんで、防煙ですけどね、煙。やっぱり無理じゃないかと。それよりは多分ね根本的にこれ価値観の相違になるんだけど、やっぱり徳川家康が作ったねそれが、宝暦の改修があるから何十年後になるんだけど、それをたまたま図面を残してくれたので、それと予算も通って木材も買ってありますから同じものがもう 1 回甦えれるわけですよ。そんなチャンスというか、それ文化っていうのは、あと 1000 年も引き継いでいかないか、社会的任務であって、僕はそれを変更する権利がないと思いますよ僕は、そもそも。

浅井正仁（自民・中川区）： もういいね市長、だったらねもうね技術提案も何もやらなきゃよかったんだよ、デタラメなんだよあなたがやったことは。今になってエレベーターいらんなんてね、それは MHI に対して失礼だよ。市長見に行ったのそのエレベーター。見に行ってもないのにね、言わないでよ、俺こないだ見に行ったよ。船に付いとる MHI のエレベータ、見に行ったよ。（船についとるやつ。それとは違うらしいがね。）違うって根本的に一緒だよ。

説明も受けてきたよ。あなたね、見てもいない何にもいない、ただエレベーターが嫌なだけでね、あなたがね想いだけで作るんじゃないよ、河村城を作るわけじゃないんだから、（委員長こういう侮辱発言止めてください）侮辱じゃないよ本当じゃん。（河村城じゃないよ、徳川家康の作った城）徳川家康は作ってないよ。

委員長 北野よしはる（自民・北区）： 当ててから発言してください。

浅井正仁（自民・中川区）： 徳川家康は生きてないよ。

委員長 北野よしはる（自民・北区）： 浅井委員がちょっと発言中ですからまだ待ってください。

浅井正仁（自民・中川区）： 今日のねやつを聞いとったらね。みんなまともに答えない。みんなすり替える。でたらめだよこれ、やっぱり（あんたがでたらめだよ）

河村市長： もうこれ以上やりますと、根本的な価値観がちょっと違っとして、私は、ちょうどこれが、多分広島城がやろうとしてますけど、あそこも図面がこれだけあるかどうかわかりませんので、これがもう、名古屋城が多分日本で最後の城ですわ。本物を作ったときのものが、もう 1 回復元できるということですから、ぜひ

それをやるもう任務があると、それを変更する権利がないと今生きてる人間には。そういう考えの人と、それから浅井さんみたいに違う人ではこれね、どうしようもならないんですよこれは。反対にもう一言、言わしてもらおうと、それは確かにエレベーターをつけてくれと言う人もおるかかわらんけど、エレベーター無しで本物の、本当に作れるならね、徳川家康が作ったお城と、宝暦の改修の後になりますけど、ぜひ作ってくれという人たちは、ものすごいおるからね言っておきますけど。

浅井正仁（自民・中川区）： どうしようもないってね僕を否定するんだね。

（あんたは俺を否定してるじゃん。）否定してないじゃん。そこを理解深めるんですよ。

今ものすごいおるって言ったて、ものすごいおるって言ったって、アンケートでは5階までをつけてくれが一番多いんですよ、何回同じ話をさせるのにね。（そうとは思わんけどね）

委員長 北野よしはる（自民・北区）： 挙手しないで発言してください。

浅井正仁（自民・中川区）： あのアンケートが何っていった。でたらめなの。（わかりません。）

わかりませんって今言ったじゃん（わかりません）今言ったじゃん。（何を言いました）あのアンケートは言ったじゃん、（アンケートのこと言っとるでしょ。）

委員長 北野よしはる（自民・北区）： 順番に発言してくださいね。

浅井正仁（自民・中川区）： ちょっとさっき何言った市長、アンケートは何て言った。

（アンケートはっと言っただけです）ちょっと今、録画中継みえんかな。

今は何なんだと、何だって何、（何かわかりません。）

だから市長はね、自分の思い通りじゃないとね駄目なんだよ。人の意見は聞かないんだよ、だからこのお宅の副市長は勝手にね、勝手にあんな合意文書作って、結局そうなるんですよ、市長の思いだけでみんな動くんですよ、（違います）だって動いてるじゃん、松雄副市長は、合意文書まで作って、

河村市長： わしは一応ですので市長としての責任があります。わしは一応これ給料も 800 万の税金でもらっとる市長ですので、必要なことは、これでやろうと言います。それも後なんですか、選挙のときには提案して、議会も議決をもらってやっております。やっぱり一番、徳川家康が作ったいわゆる文化財です。文化財が燃えたとしても復元を忠実にやった場合は別個の価値が与えられるって、令和 2 年に遅いでいかんわね、文化庁がそういう基準を作ってくれましたので、それに従ってや

っていくと。

浅井正仁（自民・中川区）： 壊れたテープレコーダーみたいな同じことばかり言われても困るんだわね、市長、4億わしの給料で、母ちゃんに風呂抜かれたみたいな話しとんだけど、毎年ね1億ずつね、木材の保管料でかかってくるだわね。（早くやらなあかん）早くやらなあかん。

だからね、そっちの方は言わずにね、自分の給料だけ言って、これからねどんどんどんどん増えていくんだわ。

（いや早くやればいいですよ、）早くやれってやれないでしょ現実的に。だからもう全然駄目、国って頑張っただけでいいわね。これで終わります。

小出昭司（自民・中村区）： ちょっと意見言わせてください。ちょっと今お話聞いててあきれ返るばかりなんですけど、いろいろ今回私が一番やり取りを聞いてて、やっぱり何と言ってもやっぱり一番の根源的な問題は、これ平成27年の8月24日の指示書ですわ、指示書。

これの一番下に『以上、本件の全責任は私が取るので、全員全力で取り組まれます』よく市長はラーメン屋の話だとかいろいろな話されます。民間企業でも、もし民間企業で社長が社員に対してこの文書を出したら、全責任取るって言うてるんですから社長が、責任を取るってどういうことですか。自分がその職をかけてでもやるんだという意味ですよこれは。

皆さんそう取りますよ。（そうでもあります。）そうですね。

そうだけでもじゃなくて、トップとしてはそういう意味で伝えなかったら意味がないじゃないですか。そうですね。だからみんな必死にやるわけですよ。そこで市長は何て言いました。僕これが今日びっくり、一番びっくりしたことです。

そうやって書かないと前に進まないから書いただけだ（だけとは言ってます。）

いや、そうやって後からいいですわねそれで、これはね僕はねもう本当にびっくりしました。

これね、職員の人たち、今日のインターネットで放送聞いたらどう思うと思います。今までの市今までの市民経済局から始まって観光文化交流局のこの名古屋城に関わった人たち、この人たち全員はこの指示書に基づいて動いてるわけですよ。

皆さん市長が、市長の立場をかけて全責任とるからみんなやってくれって言うから、俺たちも命がけになって必死になってやろうとしたわけですよ。

そうですね。（そうです。）そういう思いを、市長この言葉は踏みにじってるのと一緒にですよ。市長は重くなかったって言うてるでしょ。それで、もうちょっと聞いてください。それで結局みんな無理したんですよ。職員が、いや無理します。無理してるじゃないですか。それでいろんなね、2020年の話は22年の話やね。無理をして無理をしてそれでせっかくいいものがもっと早くできるはずだったのに無理をして全部歯車が狂ってしまう。それを我々は是正しようとして市長に言っても全然

理解をしてくれない。その結果が現在において、全く何も動いてないっていう状態を産んじゃったんじゃないですか。だから私はやっぱり実際に動いてるのは職員の皆さんですよ。だからこの発言というのは、市長は職員を裏切りたって一緒なんですよ。

河村市長： 極めて遺憾ですけど、毎年 1 億円のお金がかかるようになるという話の中でですね、そういうのをですね例えば損害賠償請求を河村たかしに出すとかね、そういうのはやめてくださいよとそういう意味で、（そうは言ってない。）いやいやそういう意味ですから、話の流れは、そういうことなんであって、あんたは言っとらんけど、あなたはそれ言ってないけど、流れは浅井さんの言っとるその人の文章がそういうことですから、言わんとしておるところは。だからそういうものではないですよということ。

小出昭司（自民・中村区）： 言わんとしてることは、市長はそういう考え方でこの信書書いたわけですよ。

（何を、）何をもう 1 回言いましょうか、そうやって書かないと前に進まないから書いたって、（と言われたということは事実です。）いやいや市長が今言ったじゃないですか。こうやって書かんと、だからそういう意思で書いたってことでしょ市長。（前に進まないからと言われましたので、）だから書いたのは市長だから、結局それは市長の意志。またすり替えるようなことはやめよ、もうまたそんなことをやってみようがないから。つまりつまりこの言葉を職員の皆さんは信じて命がけてやってきたんですよ。（私も命がけてやっていますね。）病気になった人も幾人が聞いてますよ、そんなことをやってきたのに何だこの、そんなことだったのかということが今日わかりました。それで、それで市長が（誤解だと言ってくださいよ）

最後に最後にそんなね今日僕が何を言いたいかって言ったら、先ほど市長もそれをね、後継者としてね、その考え方をね、引き継いでやってくれる人間がいると、それで進めていくんだと。だから一刻も早くやれるようにみんな協力してくれと言ってるわけですよ。市職員の皆さん、俺が辞めた後もね、俺はこういう人間を連れてくるから頼むぞと。誰が信用します。

（自分で勝手にそう言ったらええや。）いやいや市長が言った、俺はもうちゃんとメモってないそうやって書かないと前に進まないから書いただけと言った。

委員長 北野よしはる（自民・北区）： 市長、発言はちょっと待ってくださいね。聞いてから発言してください。

小出昭司（自民・中村区）： だけがあっても一緒です、だけがあってもなくても一緒です。

だけどとにかく確認してもそういうような思いをね、市長の考え方でこの文章を書

いた、すごく重い。

これは・重いですすごく思いが（徹底的にやってきたじゃないですか）すごく重いから、すごく重い言葉を市長は言ってるのに、そのことの、何で書いたかって言ったら、そうやって書かないと前に進まないから書いたと、（それはそういうそのときはそういう経緯で書いた）

河村市長　こんなことをね、そのときのいきさつをそのときの局長に聞いてくださいよ。そういう話があったことは事実ですと、そういうことを言っただけのことであって、なぜそれがそんなふうになるんですか。

小出昭司（自民・中村区）：　私は経緯のことじゃないです。指示書のこと言ってんですよ。指示書というのは重いですよねと、市長が全責任とるというのはねし、職を辞してでもそのぐらいの気持ちでやってると、そういうことですよそれを職員たちは信じて、市長のために市長の思いを何とか遂げようと思ってやってきたわけですよ。

そしたら今聞いてみたら、そうじゃなかったわけですよ。そうやって書かないと前に進まないからですねねなんかね、

委員長　北野よしはる（自民・北区）：　ちゃんと挙手してから始めてください。

小出昭司（自民・中村区）：　今日初めて聞いたのでちょっと驚いた。

私があなたのところの職員だったら、何だとうちの社長はうちの親分は（何ですか）これこれだけ腹をくくった指示書を出しておいたのに、いやそうやって書かんとよねこれやれへんもんで書いただけなんだ。（前にすすまんから、書いてくださいと言われたんで、わかりましたで書いた、それは事実そういうことですよ。）
わかりました。（聞いていただければわかります。）

委員長　北野よしはる（自民・北区）：　ちゃんと挙手して発言してください。

河村市長：　いやいや、そうでもないだろやっぱり。一応こっちから

委員長　北野よしはる（自民・北区）：　まだ当てませんから、発言は慎んでください。

河村市長：　一方的な話ばかりで、こちら側の話なしって、わやな。

委員長　北野よしはる（自民・北区）：　不規則発言はやめてください、質問してから答えるという形をとってますので委員会は、質問してないので答えな

いでください。

河村市長： それは本当かねそれ。

委員長 北野よしはる（自民・北区）： 本当ですよ、委員会（一方的に言うだけじゃない。）

では他によろしいですね。はい他にないようであります。

以上で市長に対する質疑を終了をいたします。市長はご退席いただいて結構でございますございます。

整備担当課長： 先ほど浅井委員からのご質問の回答の中で、付帯決議ということで申し上げけれども正確には党からの要望ということでしたので、改めてここで訂正させてさせていただきます。

委員長 北野よしはる（自民・北区）： それでは当局に対する質疑は、他にありませんか。

よろしいですね。はい、他にないようであります。以上で観光文化交流局関係の質疑を終了いたします。本日の予定は以上であります。

あすは午前 10 時から上下水道局関係の総括質疑を行います。これにて本日の委員会を散会いたします。